

施策番号	0204		
施策名	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進		
概要	市民それぞれが各人の置かれた状況に応じて、家庭や地域生活などにおいても、多様で柔軟な働き方・生き方が選択でき、仕事の充実と地域参加や社会貢献などの仕事以外の生活が好循環する社会の実現を目指す。		
担当局・部室	文化市民局・共同参画社会推進部	共管局・部室	
上位政策	2 人権・男女共同参画		
施策に関する主な分野別計画等	第4次京都市男女共同参画計画、きょうと男女共同参画推進プラン		

### 施策の評価

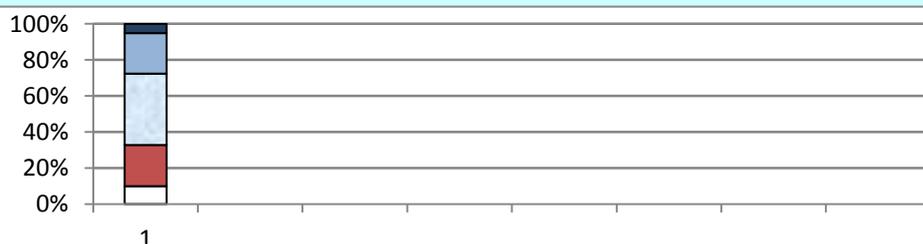
#### 1 客観指標評価

指標名	23年度	24年度	25年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 ワーク・ライフ・バランスの取組が認証基準点(130点)以上の企業の数(社)	-	a	41	81	56	144.6%	a	1.00	
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	25年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 女性も男性も、仕事と生活（家庭や地域活動など）をバランスよく充実できる社会になってきている。	28 5.2%	122 22.5%	215 39.6%	124 22.8%	54 9.9%	543	c	
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							c	



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

<b>B</b>	<b>施策の目的がかなり達成されている</b>					24 年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) ワーク・ライフ・バランスの内容は個人のライフスタイル、価値観によって異なるため、市民がどのように感じているのかわかる市民生活実感調査の結果を重視する。						23 年度	B
(原因分析) ・男女共同参画白書によると、育児休業を取得している女性は増えているが、出産前後に継続就業している割合は増えておらず、女性の就業継続をめぐる状況は依然として厳しいこと、また夫の家事・育児関連に関わる時間は、1時間程度と他の先進国と比較しても低水準であること、家庭生活より仕事を優先している人が多いことなどが分かっており、未だ、ワーク・ライフ・バランスの考え方が広く浸透しているとは言えないため、市民生活実感調査の結果はcとなったと考える。 ・客観指標評価については、推進企業支援補助金の創設、企業対象セミナーでの制度周知やアドバイザーの派遣等、府市協調で企業への支援や啓発活動に取り組んだため、大幅に増加し、a評価になった。							

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	きょうと男女共同参画推進プランの推進	24,660	25,329	良い	文化市民局
2	「真のワーク・ライフ・バランス」推進事業	29,120	31,907	かなり良い	文化市民局
3	京都市男女共同参画センター ウィングス京都	198,150	192,026	—	文化市民局
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

\* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

・「真のワーク・ライフ・バランス推進計画」に基づき、平成24年度からは、「真のワーク・ライフ・バランス」の推進のために中小企業が行う様々な取組に対する支援を開始し、職場環境整備に取り組むきっかけづくりを応援している。今後も、企業に対する取組の推進とともに、積極的に取り組む市民の発掘も行い、その活動を広く社会に発信することで、誰もが仕事や家庭生活、社会貢献などにおいて、生きがいと充実感を得て心豊かな人生を送れるためのまちの実現をめざして、取組を推進する。

施策名	0204	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進				
指標名	ワーク・ライフ・バランスの取組が認証基準点（130点）以上の企業の数(社)					
担当課	男女共同参画推進課	連絡先	222-3091			
<b>1 指標の説明</b>						
「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度の宣言企業のうち、認証企業として認定されている京都市内の企業数						
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>			
企業における仕事と子育て両立支援の状況を示す指標			算出方法：「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度の宣言企業のうち、認証企業として認定されている京都市内の企業の数 出典：事業担当課調べ			
<b>4 数値</b>						
	前回数値 23年度	最新数値 24年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	41	81	40社増	56	中長期目標を達成するため平成32年度までに16社/年の増(160社増)を達成させる。	144.6%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値		180社	32年度	45.0%	市内に事業所のある宣言企業を平成32年度までに800社とし、そのうち約2割を本指標に掲げた認証企業として22年度時点の企業数（約20社）から増やすことを目指す。	指標変更（24年度～） 昨年度までの指標である「育児介護休業法の法定基準を3つ以上満たしている企業の割合」から、「仕事と生活の調和」に向けたより広い指標として、24年度から育児と介護以外の支援も含めた指標に変更。
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>				
前年度と比較し、年間の認証企業増加数が a：16社以上 b：10社以上15社未満 c：5社以上10社未満 d：1社以上5社未満 e：増加なし		目標値である16社/年増を達成した場合をaとし、以下、 bを10社以上15社未満 cを5社以上10社未満 dを1以上5社未満 eを増加なしとする。				
<b>7 評価結果</b>						
	23	24	25			
	-	a	a			